

事 務 連 絡
令和5年11月24日

報道機関 各位

函 館 市 病 院 局
管 理 部 庶 務 課 長

市立函館病院職員の各種表彰の受賞について(取材依頼)

このことについて、当局市立函館病院の職員2名が、各学術集会において、下記のとおり受賞いたしましたので、取材報道方よろしくお願ひ申し上げます。

記

- 1 受 賞 者 ①救急救命士 坂見 匡則
令和5年11月11日に開催された、第47回北海道救急医学会学術集会において、演題「市立函館病院における院内救急救命士の活動において」を発表し、優秀賞を受賞いたしました。
- ②リハビリ技術部長 山下 康次
令和5年11月12日に開催された、第74回北海道理学療法士学術大会において、5年に1度理学療法の発展に寄与し高い功績をあげた会員に授与される福田賞を受賞いたしました。
- 2 取材対応日時 令和5年11月28日(火)
①15時～ ②15時30分～(各30分程度)
- 3 取材場所 市立函館病院 2階管理部庶務課
(函館市港町1丁目10番1号)
※駐車場は当院外来駐車場をご利用ください
- 4 備 考 取材時は事前に下記までご連絡ください。

【取材時連絡先】
函館市病院局管理部庶務課
(市立函館病院)
担当 宮本・澤口
TEL 43-2000(内線4209・4207)
E-mail:hmh@hospital.hakodate.hokkaido.jp

第47回北海道救急医学会学術集会

〔 第103回 北海道医学大会 救急医学分科会 〕

プログラム集

日 付：令和5年11月11日(土) 8:55~17:10
会 場：札幌医科大学医学部教育研究棟
札幌市中央区南1条西17丁目
TEL (011) 611-2111
会 長：札幌医科大学医学部救急医学講座 教授 成松 英智

当番幹事

札幌医科大学医学部救急医学講座	教授	成松 英智
札幌医科大学附属病院高度救命救急センター	看護師長	石井 祥子
薬剤部	部長	福土 将秀
臨床工学部	係長	岸本 万寿実
放射線部	主任技師	小倉 圭史
千歳市消防本部	消防長	樋口 護

特別講演・救急科領域講習

「救急診療に超音波を活かす」
旭川医科大学医学部医学科救急医学講座 教授 岡田 基

教育講演・救急科領域講習

「米国中毒専門医から見た日本の中毒診療」
国際医療福祉大学医学部救急診療科 講師 千葉 拓世

-
1. 講演時間 1題 8分、討論 2分
 2. プロジェクター使用
 3. 発表形式 PCプレゼンテーション
-

第1会場 (1階・D101)

幹事挨拶 (8:55~9:00)

一般演題1 救急隊1 (9:00~9:50) 座長 江崎 純 (千歳市消防本部)

1. 生命兆候のあるCPA症例を経験して
○杉本 啓輔, 早坂 庸靖, 三澤 哲 (江別市消防本部)
2. 蘇生後、右片麻痺をきたしていた急性大動脈解離の症例について
○菖蒲田幸助¹, 豊原 隆² (釧路市消防本部¹, 市立釧路総合病院²)
3. 意識障害により情報が取れず、判断に苦慮した症例
○佐藤 リセ (北広島市消防本部救急課)
4. VFが継続する傷病者が社会復帰に至った事案
○伊勢田浩平 (留萌消防組合小平消防署)
5. 41mの高所から雪面に墜落し、偶発性低体温症によりCPAとなった傷病者が社会復帰した症例を経験して
○茂木 香純¹, 松島 勇武¹, 川端 健功¹, 柿崎隆一郎², 加藤 航平², 山本 修二³ (とちぎ広域消防局上士幌消防署¹, 帯広厚生病院救急科², 帯広厚生病院麻酔科³)

一般演題2 救急隊2 (9:50~10:40) 座長 一戸 一真 (恵庭市消防本部)

6. 低血糖を伴う透析傷病者への対応において、ブドウ糖投与未実施で搬送した事案について
○金子 祐人, 岩井千代志, 佐々木啓充 (函館市消防本部)
7. CaselineTM (医用画像共有プログラム) を用いた12誘導心電図伝送の当地域の取組み
○大滝 達也¹, 豊嶋 更紗², 藤田 智³ (上川北部消防事務組合¹, 名寄市立総合病院循環器内科², 名寄市立総合病院救命救急センター³)
8. 救急現場では予測が困難であった若年女性の突発性脊髄硬膜外血腫の1例
○依馬 嵩大 (千歳市消防署救急課救急2係)
9. 河川水難事故におけるCPA傷病者のROSC症例
○中西 健斗, 池田 雅尚 (旭川市北消防署救急第2担当)
10. 多職種連携を用いて解決を図った頻回救急要請者への対応
○村中 紀充, 鍛形 玲介, 遠藤 昭次 (日高中部消防組合消防署)

一般演題3 救急隊3 (10:40~11:30) 座長 高橋 亮介 (岩見沢地区消防事務組合消防本部)

11. 静脈路確保訓練キットを用いた救急救命士の静脈路確保成否関連要因と改善方策の検討
○津野 佑太¹, 谷口 圭祐², 家入 啓輔¹, 宮田 翔彩¹ (遠軽地区広域組合消防本部¹, 北海道総務部危機対策局危機対策課防災航空室²)
12. Zoomを利用した訓練の実施について
○飯田 達也 (岩内・寿都地方消防組合岩内消防署救急係)
13. 救急兼務隊員育成のための救急出動シミュレーション
○山内 大輔 (札幌市消防局厚別消防署警防課)
14. 市立函館病院における院内救急救命士の活動について
○坂見 匡則¹, 武山 佳洋¹, 田中 郁也¹, 佐藤 徳香¹, 坂脇 園子¹, 坂脇 英志¹, 佐藤 昌太¹, 杉林 武彦², 市川 浩二² (市立函館病院救命救急センター¹, 函館市消防本部救急課²)
15. 救急救命士の指示要請と指示内容が救急活動に与える影響
○猪羽 大地, 深田 雅, 中島 正行 (石狩北部地区消防事務組合消防本部)

福田賞の公募について

表彰審査委員会 学術分野小委員会
委員長 杉原 俊一

この賞は、北海道理学療法士会第4代会長 福田 修 氏のご寄付により、北海道理学療法士会および理学療法の発展に寄与し高い功績をあげた会員に対し、5年に1度その栄誉を讃えて1名の会員を表彰するものとして平成10年に設立されました。

5度目の表彰になる平成30年度は、7月28日（土）～29日（日）に執り行われる、公益社団法人北海道理学療法士会創立50周年の記念学術大会において、授賞式を行う予定です。

つきましては、下記の注意事項をご確認の上、所定の用紙（様式1）に必要事項を記入し送付先へ郵送願います。

【注意事項】

- ① 公益社団法人北海道理学療法士会会員であること
- ② 卒後5年以上であること
- ③ 必ず現在所属支部の支部長の推薦を受けること
- ④ 締め切りを厳守すること（平成30年3月31日消印有効）
- ⑤ 所定の用紙（様式1）は当会ホームページからダウンロードする、または以下の送付先まで問合せること

（福田賞推薦書_様式1）ダウンロード先：<http://www.pt-hokkaido.jp/details/post-3.html>

問い合わせ先

学術分野小委員会 事務局（竹ヶ原 智行 宛）

E-mail：t.takegahara@gmail.com

送付先

〒060-0003

札幌市中央区北3条西2丁目1 カミヤマビル4階

公益社団法人北海道理学療法士会 事務局

第69回北海道理学療法士学術大会からのお知らせ

査読委員・座長公募、演題募集期間が決定しました！

査読委員・座長公募期間：平成30年1月17日（水）～2月14日（水）

演題募集期間：平成30年2月7日（水）～3月7日（水）

第69回北海道理学療法士学術大会は以下の要領で開催されます。

会員の皆様から、多くの演題登録をお待ちしております！

【テーマ】：理学療法のワークシフト

【会期】：平成30年7月28日（土）～29日（日）※例年より開催時期が早まります。

【会場】：札幌コンベンションセンター（札幌市白石区東札幌6条1丁目1-1）

【大会長】：杉原 俊一（札幌秀友会病院）

【副大会長】：橋田 浩（北海道文教大学）

【準備委員長】：時永 広之（札幌医学技術福祉歯科専門学校）

大会ホームページ：<http://www.pt-hokkaido.jp/congress/>

* 査読募集・募集要項等に関しましては大会ホームページより詳細をご確認ください。

* 例年と大会開催時期が異なりますのでご注意ください。

